

1. 干拓地 2. リアス海岸 3. 砂浜海岸 4. 三角州

1. 三重県と愛知県の境界には飛騨山脈が位置し、陸路での移動は困難である。
2. 三重県と愛知県の間には静岡県が位置しており、両県は境界を接していない。
3. 三重県と愛知県は、ともに近畿地方に属しており、古くから同じ行政区画であった。
4. 三重県と愛知県は、伊勢湾を挟むとともに、陸上でも境界を接している。

1. 湖岸の埋め立て事業を効率的に進めるための地盤改良を行い、工業地帯や住宅地を拡大させることで経済活動を促進する役割	2. 湖底の土砂が堆積するのを防ぐために、湖岸の植物をすべて取り除き、大型船が自由に航行できる水深を確保する役割	3. 湖水の汚れの原因となる物質を吸収する水質浄化作用を持ち、魚類や鳥類などの多様な生き物のすみかとなる生態系を維持する役割	4. 外来種の繁殖を物理的に防ぐために、湖に流入するすべての河川の水を遮断し、湖水の循環を一時的に停止させる役割
---	--	--	--

1. 大阪市 2. 神戸市 3. 京都市 4. 奈良市

1. 周辺の住宅地に対する騒音や排気ガスの影響を抑えることができる

2. 海風を利用することで、飛行機の離着陸に要する燃料を大幅に削減できる

3. 都市部から遠く離れることで、空港利用客による周辺道路の渋滞を解消できる

4. 山間部を切り開く必要がないため、土砂災害の危険性を完全になくすることができる

1. 千拓地が広がっており、一年を通じて降水量が非常に少ない。

2. カルスト地形が見られ、夏季は南東からの季節風により乾燥する。

3. リアス海岸が見られ、夏季は季節風の影響で降水量が多い。

4. 砂丘が発達しており、冬季は北西からの季節風により雪が多い。

1. 海面（標高0m）よりも低い位置
にあり、海水が流れ込んでいる

2. 周囲の山々よりも高い場所にあり
、日本で最も標高が高い湖である

3. 海面（標高0m）とほぼ同じ高さ
に位置している

4. 海面（標高0m）よりも約84mか
ら86m高い位置にある

1. 1事業所あたりの従業員数が非常に多く、大規模な工場での自動化による大量生産を主な強みとしている	2. 1事業所あたりの従業員数は比較的少ないが、各企業が専門技術を担当し、人工衛星などの製造に関わっている	3. 新幹線の部品などの精密な製品は、技術漏洩を防ぐためにすべて特定の巨大企業が独占的に製造している	4. 企業間の連携を禁止し、それぞれの企業が独立して独自のブランド製品のみを市場に供給している
--	---	--	---

1. 1年を通してほとんど雨が降らず、特に冬季は北西からの乾燥した季節風の影響で極端に湿度が低くなる。
2. 梅雨の時期である6月に年間最大の降水量を記録し、冬は季節風が山脈に遮られるため、雪や雨はほとんど降らない。
3. 9月の降水量は約220mm程度であり、冬季は北西からの季節風の影響で、太平洋側の地域に比べて降水が見られる。
4. 年間を通じて降水量が非常に多く、特に9月の降水量は300mmを大きく超えることが最大の特徴である。

1. 京阪神地域の住民や産業に対し、飲料水や工業用水を供給する重要な水源だから
2. 水深が非常に深く、日本で最も多くの淡水魚を養殖している供給源だから
3. 古くから北陸地方と瀬戸内を結ぶ水上交通の中継地として、物流の拠点だったから
4. 周囲の山々から流れ込む豊富な水を利用して、滋賀県が日本最大の米の産地となったから

1. 三重県 2. 愛知県 3. 和歌山県 4. 滋賀県

1. 中国山地 2. 飛騨山脈 3. 紀伊山地 4. 鈴鹿山脈

1. 川が運んできた土砂が河口に堆積してできた平坦な地形で、大規模な稲作や交通網の整備に利用されている。

2. 海底が隆起してできた階段状の地形で、日当たりが良いためみかんなどの果樹園として利用されている。

3. 海岸沿いに砂浜が続く平坦な地形で、水はけの良さを生かしてメロンなどの施設園芸が行われている。

4. 岬と入り江が複雑に入り組んだ地形で、波が穏やかなため真珠などの養殖業に利用されている。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 リアス海岸	谷が沈降したり、海面が上昇したりすることで形成された、出入りの激しい海岸線をリアス海岸と呼びます。三重県の志摩半島のほか、岩手県の三陸海岸南部などが代表例として知られています。
問2	答え 4 三重県と愛知県は、伊勢湾を挟むとともに、陸上でも境界を接している。	三重県（近畿地方）と愛知県（中部地方）は、伊勢湾の湾奥部で境界を接しています。この隣接関係により、両県は岐阜県とともに中京工業地帯を形成し、強い経済的ネットワークを持っています。長野県や静岡県などは、三重県とは直接境界を接していません。
問3	答え 3 湖水の汚れの原因となる物質を吸収する水質浄化作用を持ち、魚類や鳥類などの多様な生き物のすみかとなる生態系を維持する役割	ヨシ群落は、窒素やリンなどの水を汚す原因となる物質を成長の過程で吸収し、水質を浄化する機能を持っています。また、その密集した環境は、魚の産卵場所や鳥のねぐら、多様な昆虫の生息地となっており、地域の生態系を支える重要な基盤となっています。これらは自然の仕組みを活かした環境保全の代表的な例です。
問4	答え 2 神戸市	兵庫県は近畿地方の西端に位置し、北は日本海、南は瀬戸内海（大阪湾を含む）に面している広大な県です。その県庁所在地である神戸市は、大阪湾に面した天然の良港を持つ港町として発展してきました。大阪府の県庁所在地は大阪市、京都府は京都市、奈良県は奈良市であり、それぞれ異なる特徴を持っています。
問5	答え 1 周辺の住宅地に対する騒音や排気ガスの影響を抑えることができる	空港を海上の埋立地に建設する最大の理由は、人々の生活圏から離すことで、飛行機の発着時に発生する騒音や排気ガスによる環境被害を軽減することにあります。これにより、都市部の空港では難しい24時間運用なども可能になります。
問6	答え 3 リアス海岸が見られ、夏季は季節風の影響で降水量が多い。	三重県の志摩半島は、起伏の多い山地が沈水してできたリアス海岸が発達していることで有名です。この地域は太平洋側の気候に分類されるため、夏は海からの湿った季節風が吹き込み、雨が多く降るという気象的特徴を持っています。入試では地名や地形、気候区分を関連付けて理解することが求められます。
問7	答え 4 海面（標高0m）よりも約84mから86m高い位置にある	琵琶湖は滋賀県の中央に位置する日本最大の湖です。この湖の湖面は、東京湾の平均海面を基準とした標高0mよりも約84mから86m高い位置にあります。そのため、琵琶湖は「内陸湖」としての性質を持ち、湖から流れ出る水は淀川（瀬田川・宇治川）などを通じて、より低い位置にある大阪湾（海）へと流れていきます。
問8	答え 2 1事業所あたりの従業員数は比較的小さいが、各企業が専門技術を分担し、人工衛星などの製造に関わっている	大阪府の工業統計を見ると、1事業所あたりの従業員数が全国平均と比べても少ない傾向にあります。これは東大阪市に代表されるような中小企業の多さを示しています。こうした中小企業は、それぞれが「ネジ」や「金型」といった特定の専門分野に特化しており、それらの企業が連携して一つのプロジェクトに取り組むことで、新幹線や人工衛星といった高度な技術が必要な分野で活躍しています。
問9	答え 3 9月の降水量は約220mm程度であり、冬季は北西からの季節風の影響で、太平洋側の地域に比べて降水が見られる。	舞鶴市の気候は日本海側気候に分類されます。夏から秋にかけては台風や梅雨の影響で降水量が増えますが、9月のピークは約220mm程度であり、300mmを超えるような太平洋側（潮岬など）に比べると秋の降水量は少なめです。しかし、冬になると北西の季節風の影響を強く受けるため、太平洋側の地域と異なり、雪や雨による降水がはっきりと見られるのが大きな特徴です。
問10	答え 1 京阪神地域の住民や産業に対し、飲料水や工業用水を供給する重要な水源だから	琵琶湖は単に面積が広いだけでなく、その豊富な蓄えられた水が下流の京都府、大阪府、兵庫県といった都市部に供給されていることが大きな特徴です。このように特定の地域全体の飲料水や用水を支える役割を担う場所を、貯水槽に例えて「水がめ」と呼びます。
問11	答え 1 三重県	紀伊半島の東部に位置し、伊勢湾に面しているのは三重県です。三重県は近畿地方に含まれますが、中京工業地帯の一角を担うなど、愛知県を中心とする東海地方（中部地方）との結びつきも非常に強いという特徴があります。志摩市の賢島は、2016年の伊勢志摩サミットの会場となりました。
問12	答え 3 紀伊山地	近畿地方の南部には、和歌山県、奈良県、三重県にまたがる大規模な紀伊山地が広がっています。この地域は険しい山々が連なっており、古くから修験道の聖地としても知られ、「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界文化遺産にも登録されています。中国山地は中国地方、鈴鹿山脈は三重県と滋賀県の境界付近、飛騨山脈は中部地方に位置するため、位置関係から区別する必要があります。
問13	答え 4 岬と入り江が複雑に入り組んだ地形で、波が穏やかなため真珠などの養殖業に利用されている。	リアス海岸は、起伏の多い山地が沈水したり、海面が上昇したりすることで、もともとの谷の部分に海水が入り込んで形成されます。この地形は入り江が深く、外海の荒波が遮られて波が穏やかになるため、いかだを浮かべて行う真珠やカキなどの養殖業に非常に適しています。